



電子の夢を創る

東洋電機株式会社

証券コード:6655

# TOYO ELECTRIC CORPORATION

第81期 報告書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

## CONTENTS

トップインタビュー  
社員の個性と自主性を大切に、  
働き甲斐に配慮して、  
一人ひとりがいきいき働ける企業を目指します。

1

セグメント別概況 3

トピックス 6

連結決算概要 7

社員インタビュー 9

会社概要／株式状況 10



## 社員の個性と自主性を大切にし、働き甲斐に配慮して、一人ひとりがいきいき働ける企業を目指します。

日頃のご支援に心より感謝申し上げます。第81期(2019年4月1日から2020年3月31日まで)を終了しましたので、ここに謹んでご報告をさせていただきます。

当期は新型コロナウイルス感染症の影響が憂慮されたにも関わらず、増収増益となりました。国内事業の健闘に加え、全社をあげた販売費及び一般管理費の抑制によるものです。新たにスタートした今期は、同感染症拡大による取引先様への影響を見定めることが困難な状況となっています。私どもとしては引き続き全力で株主の皆様のご期待に添えていく所存です。今後ともよろしくお願い申し上げます。

代表取締役 **松尾 昇光**

Q1

国内を中心とした好調の要因はどのようなものですか。

人手不足を背景とした、物流や製造業界の自動化・省人化のニーズが背景にあります。ここ数年、ネット通販が好調で、宅配業界の物流センターにおける荷捌きの効率化が求められており、当社の搬送制御装置関連が各地で新規や更新の設備投資需要にえています。国内では新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、“巣ごもり”需要が続いており、引き続きこの分野の拡大を期待しています。

また、産業界では、デジタル技術を用いた事業構造の変革が急浮上しており、ビッグデータの活用拡大により、データセンターの需要が手堅く推移していることが変圧器の好調の要因となっています。

Q2

市場の変化にいかにか素早く対応できるかが課題となっています。先ごろ組織替えもありましたが、その狙いをお聞かせください。

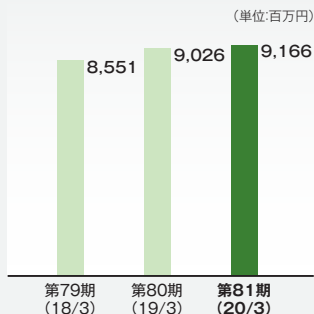
当社は事業部ごとの縦割りで事業を続けてきたため、営業、開発、製造が事業部をまたがって力を発揮する事例が少なく、お客様の多様な要求に迅速に応えることができずにきました。

この弊害を取り除くため、今期からはエンジニアリング事業部とデバイスソリューション事業部の営業部門を横断組織として統括戦略担当を設置することにしました。

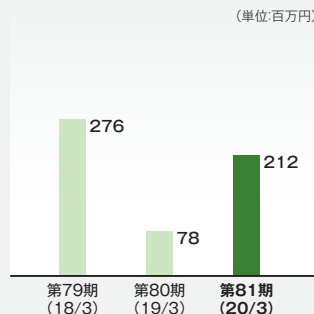
これまでのような体制では、どうしても所属事業部の活動に目が向きがちとなり、新しいお客様の開拓がおろそかになります。その反省もあって

### 連結決算ハイライト

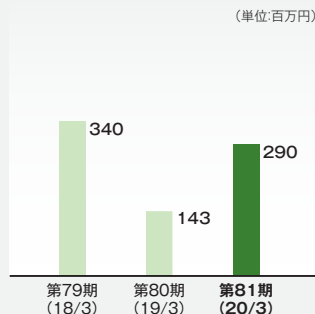
■ 売上高



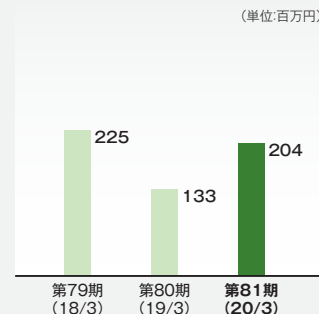
■ 営業利益



■ 経常利益



■ 親会社株主に帰属する当期純利益



改善を急いでいます。

また、新年度入社営業部員には、当社の“顔”として販売活動に専心できるよう、当社が取り扱うすべての製品を熟知できるよう研修に力を入れています。

あわせて、4月から市場開拓室を廃止し、R&Dセンターとして組織替えしました。事業部の垣根を越えて基礎研究と長期スパンの研究開発を担うとともに、若手を加えたことにより、人材育成と開発の両面から成果につなげてほしいと考えています。

当社は、海外・国内成長市場への新規・深耕開拓をうたってきましたが、事業部ごとの努力では、どうしても発想に限界があります。開発のスピード

を高めるためにも、産学連携を中心としたオープンイノベーションの活用など外部との連携に加え、標準品の開発では、原価低減のため海外のリソースも使わなければなりません。

**Q3** 働き方改革が叫ばれています。企業が勝ち残るには、社員一人ひとりのモチベーションを高める仕組みも重要になっています。

今年の2月に全社員の意識調査を行いました。「若者が定着できる仕組みがほしい」「ビジョンが見えない」などアンケートの結果は率直で前向きなものでした。

この真摯な声に応えるため、まず2点の改革に取り組みよう決意しました。

1つは、社会課題を経営に取り入れようとしています。国連が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）は、社会が抱える課題を17の目標と169のターゲットで分析しています。例えば、7番の「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、8番の「働きがいも経済成長も」、9番の「産業と技術革新の基盤をつくろう」、12番の「つくる責任 つかう責任」、13番の「気候変動に具体的な対策を」などは、当社と社員の身の回りの課題とも直結しています。こうした社会課題を当社の課題として取り組みとともに、製品に反映することで、未来を

担う使命と役割を再確認できると思います。

もう1つ重要なことは、社員のモチベーションです。「働かされている」「やらされている」という仕事観では、仕事にいきいきと向き合えません。企業とそこに働く社員の関係は対立する関係ではなく、理念やビジョンを共有し、仕事を通じて社会に役立つ成果を生んだり、個人として成長することにあります。

当社は、創業時から「個性と自主性を重視し、働き甲斐ある職場づくりを目指す」としてきましたが、この言葉の持つ意味を、初心に戻って再確認しなければならないと反省しています。

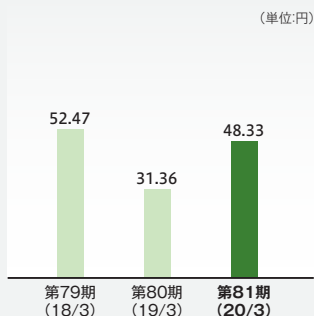
**Q4** 社員が元気に働いてこそ、既存のお客様だけでなく、社会からも評価されるよい製品が生まれます。改革を急ぎたいものですね。

経営陣が中心となって方向性を確認しますが、社員の声を無駄にしないことが大切です。社員のモチベーションの向上には、社員一人ひとりが目指す「キャリアの可視化」、「人材育成」そして「適正評価する仕組み」が必要です。

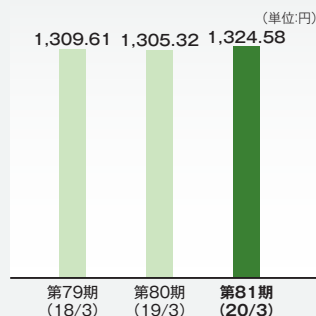
しばらくは試行錯誤が続くかもしれませんが、社員の声を経営に届く仕組みを懸命に模索したいと思います。株主の皆様のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

## 連結決算ハイライト

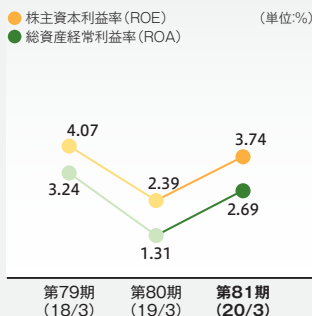
### ■ 1株当たり当期純利益



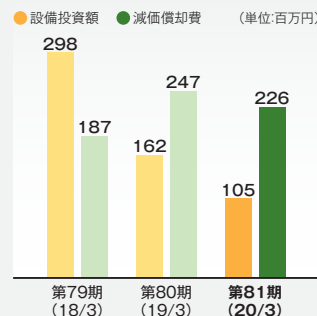
### ■ 1株当たり純資産額 (BPS)



### ■ 株主資本利益率 (ROE)/総資産経常利益率 (ROA)



### ■ 設備投資額/減価償却費



## 1 国内制御装置関連事業

国内制御装置関連事業は、当社グループの中核事業として、日本国内を中心に事業展開をしております。当事業は4部門から構成されており、その内、デバイスソリューション部門、機器部門の売上高が減少したものの、エンジニアリング部門および変圧器部門の売上高が増加したことなどにより、売上高は7,848百万円(前期比4.4%増)となりました。

(注)2018年4月1日付の会社組織の一部変更により、デバイスソリューション部門を新設いたしました。これに伴い、組織の変更が前連結会計年度の期首に行われたと仮定し、各部門の前年同期比を記載しております。

## エンジニアリング部門

エンジニアリング部門の事業は、業種業界ごとに異なる制御システムを提供しております。当事業の内、搬送制御装置分野や印刷制御装置分野が増加したことなどにより、売上高は2,417百万円(前期比18.5%増)となりました。

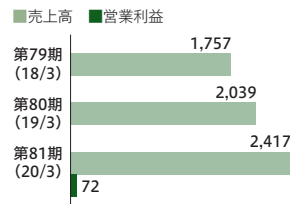
売上高 **2,417** 百万円 → 前期比 +18.5%

## 主要製品

- オンデマンドフォーム印刷機電装品
- インテリジェント多機能リレー(IPR)
- 宛名紙印刷搭載機



## 売上高・営業利益推移 (単位:百万円)



## デバイスソリューション部門

デバイスソリューション部門の事業は、これまで培ってきた商品開発・システム開発の経験を基に、新しい商品やソリューションを提供しております。当事業の内、表示器分野が減少したことなどにより、売上高は1,031百万円(前期比1.0%減)となりました。

売上高 **1,031** 百万円 → 前期比 △1.0%

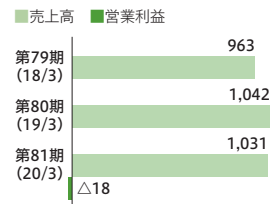
## 主要製品

- 省配線型搬送コントローラ(MRC)
- 交流電力調整器
- 情報表示器
- マジックビー



省配線型搬送コントローラ(MRC)

## 売上高・営業利益推移 (単位:百万円)



取締役 常務執行役員  
エンジニアリング事業部長 兼  
デバイスソリューション事業部長

## 井澤 宏

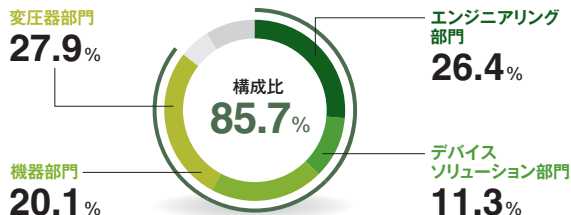


エンジニアリング事業は、上期から下期に入って物流センター向け搬送制御装置関連を相次いで納入しています。この数年、宅配業界はネット販売などの需要増に備えるため、全国で物流設備の新設と更新の意欲を見せており、この需要はしばらく続く見通しです。また、当期は新聞社へ新聞発送制御システムを納品しました。オリンピックとパラリンピックをにらんだ設備投資です。当期は監視制御装置と配電盤の売上は減少しましたが、営業活動では、利益を度外視した過度の価格引き下げを戒めています。しかしながら、配電盤分野のモーターコントロールセンタは、今期につながる受注量を確保しています。

デバイスソリューション事業は、エンジニアリング事業部と機器事業部で培った経験や技術を持ち寄り、新しい商品につなげることを目的に発足しました。ただ、一品物をつくるエンジニアリング事業と量産品をつくる機器事業では仕事のやり方も異なり、これまでのところ狙いどおりの成果につながっていません。今後は2つの部署の技術力を活かしてもう少し双方の良さを伸ばすことのできる製品に特化していきます。そのため、両部門の連携を強める目的として、エンジニアリング事業部とデバイスソリューション事業部の営業部門を相互の横断組織とし、統括戦略担当を設置することになりました。



売上高 **7,848** 百万円  
 → 前期比 +4.4%



### 機器部門

機器部門の事業は、光技術を応用した様々な産業設備用機器を自社開発し、自社製品として提供しております。当事業の内、安全装置用センサの需要が減少したことなどにより、売上高は1,841百万円(前期比4.7%減)となりました。

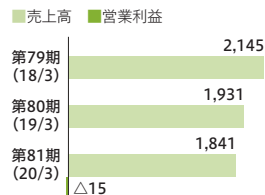
売上高 **1,841** 百万円 → 前期比 △4.7%

#### 主要製品

- 空間光伝送装置
- エレベータ・エスカレータ関連機器



#### 売上高・営業利益推移 (単位:百万円)



### 変圧器部門

変圧器部門の事業は、当社が設立以来営んでおり、受配電用変圧器から機械設備用変圧器などを提供しております。当事業はデータセンター向けやメンテナンスサービス関連の需要が増加したことなどにより、売上高は2,558百万円(前期比2.1%増)となりました。

売上高 **2,558** 百万円 → 前期比 +2.1%

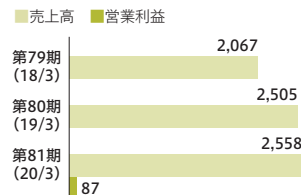
#### 主要製品

- 乾式変圧器
- 耐雷変圧器
- モールト変圧器
- 始動リアクトル

乾式変圧器  
TKHⅢシリーズ



#### 売上高・営業利益推移 (単位:百万円)



執行役員  
機器事業部長

菅 幸彦



機器事業部は、海外に進出する日系エレベーターメーカーとの連携により、エレベータセンサなどで高いシェアを獲得してきました。この数年は、中国や欧州勢の価格攻勢に加え、災害時に備えた2社購買の採用もあり、売上利益とも減少傾向にあり、早急に、新たな需要の掘り起こし策が求められています。もう一つの柱である空間光伝送装置は、自動車や半導体生産ラインへの導入を図るため、今期は新製品3機種を投入して巻き返しを図ります。

執行役員  
変圧器事業部長

石塚 豊



データセンターの需要が当期も手堅く続きました。例年ですと4月から6月にかけては出足が鈍いのですが、この1年は年間を通し安定して仕事を受注しました。最近の傾向としては、大型設備が多くなったことから、変圧器も500~600kVAの大容量対応が増えています。大型化に伴い温度上昇、突入電流、騒音などの特殊試験に対応する大型の検査装置があることも評価されています。今後は災害時に備えた耐雷変圧器の需要にも力を入れていきます。

## 2 海外制御装置関連事業

海外制御装置関連事業は、当社グループの海外企業2社が事業を展開しており、中国南京市にある南京華洋電気有限公司は、中国国内向け盤関連製品の製造販売や、中国国内やタイ王国などに向けたエレベータ関連センサの製造販売を行っております。また、タイ王国にあるThai Toyo Electric Co.,Ltd.は、南京華洋電気有限公司から輸入したエレベータ関連センサの組立・検査・販売を行っております。

当事業は、盤事業で中国国内での半導体・液晶関連の需要が低迷したことや、海外廉価製品の流入に伴う価格競争の激化などにより、売上高は508百万円(前期比22.3%減)となりました。



南京華洋電気有限公司



Thai Toyo Electric Co., Ltd.

### 主要製品

#### ●盤関連製品

(南京華洋電気有限公司のみ)

- ・ 高圧受配電盤
- ・ コントロールセンサ
- ・ PLC応用制御盤

エレベータセンサ  
「かご位置確認用センサ」

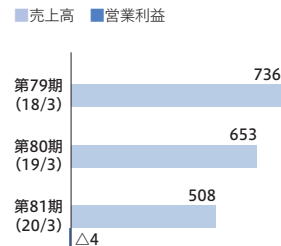
#### ●エレベータ関連製品

(南京華洋電気有限公司と  
Thai Toyo Electric Co., Ltd.)

- ・ マルチビームセンサ
- ・ かご位置確認用センサ

C型コントロールセンサ

### 売上高・営業利益推移 (単位:百万円)



取締役 常務執行役員  
南京華洋電気有限公司  
総経理

### 加藤 茂男



2019年度は減収増益となりました。盤関係は、米中貿易摩擦の影響により、半導体・液晶関連の搬送制御盤が大きく下振れ、電子関係は、エレベータ用マルチビームセンサにて、日系主要顧客の購買方針の転換により大きく下振れとなりましたが、経費削減等の内部努力により、増益となりました。引き続き厳しい環境下に加え、コロナウイルスの影響が今後懸念されます。

執行役員  
Thai Toyo Electric Co., Ltd.  
代表取締役 社長

### 水野 和貴



2019年度は増収増益となりました。要因はエレベータセンサを日本からタイに引き込み、生産品目を増やしたこととタイ国内のエレベータセンサの販売が増加したことによります。しかしながら、エレベータセンサは競合他社の安値攻勢により非常に厳しい状況でございます。

今期は、生産品目を増やしながらか特定の機種依存体質を低減させていきます。また、5月よりバンコクプラントを開設しました。新たに耐電変圧器の拡販に取り組みと共に東洋電機製品の販売拠点として活動して参ります。

### 3 樹脂関連事業

樹脂関連事業は、当社グループの東洋樹脂株式会社が展開している樹脂リサイクル事業です。当事業は、米中貿易摩擦の影響から自動車部品関連の需要が減少したことなどにより、売上高は810百万円(前期比5.0%減)となりました。

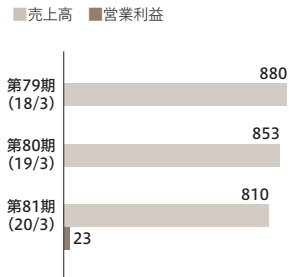


#### 主要製品

- 廃プラスチックのリサイクル
- リサイクル樹脂ペレットの生産・販売
- プラスチックのコンパウンド受託加工
- 樹脂パウダーの生産



#### 売上高・営業利益推移 (単位:百万円)



東洋樹脂株式会社  
代表取締役 社長

## 松尾 太起



当社はリサイクル事業(リサイクル原料を使用した自社製品の製造・販売及び再生委託加工)、コンパウンド事業(委託加工)、冷凍粉碎事業(樹脂パウダー加工)の3事業がメインとなります。

2019年度は販売先での海外輸出関係の落込みが大きく影響し、特に自動車関連部品材料が大きく下振れとなりました。今期はコロナウイルスの影響により厳しい状況が継続されると予測されますが、汎用系樹脂・スーパーエンプラへの取組や非自動車産業への展開を中心に進めて参ります。

(注)セグメント別概況のセグメント別および部門別の営業利益は連結調整前の数値であります。

## 取締役退任のご挨拶

先代、創業社長の長男。二代目後継者を目指し、社外での修業三年、一兵卒として入社。

社宅での新婚生活、家内の共同浴場の湯沸かし、掃除当番、休日の社宅構内大掃除と今では懐かしい思い出です。

町工場、私企業から、社会性のある公的企業・上場企業を目指し、名古屋投資育成会社の投資先第一号認定を取得した創業者の英断、快挙。

しかし、その後の景気変動への対応力不足、自立経営基盤の不充実で、上場の入り口までも到達できず、挫折の涙。

「創業者の無念を晴らす。社会に貢献する強い上場企業になる。」そんな思いで必死に会社経営に当りました。社員皆様のご努力、お客様のご理解を頂き、名古屋証券取引所市場第二部に上場。社は「働き甲斐ある職場をつくろう」を目指し、自主独立、技術重視、高付加価値、永続性、社会に貢献する企業に近づけることが出来たのは私の誇りであります。

社員の皆様およびお客様ならびに株主様のご支援、ご協力と神・仏のお導きに感謝し、東洋電機を卒業いたします。ありがとうございました。

#### 【経歴】

1967年8月 当社入社  
1975年5月 当社取締役  
1977年6月 当社常務取締役  
1982年9月 当社取締役副社長  
1983年6月 当社代表取締役社長  
2006年6月 当社代表取締役会長  
2019年6月 当社取締役相談役  
2020年6月 当社取締役相談役退任



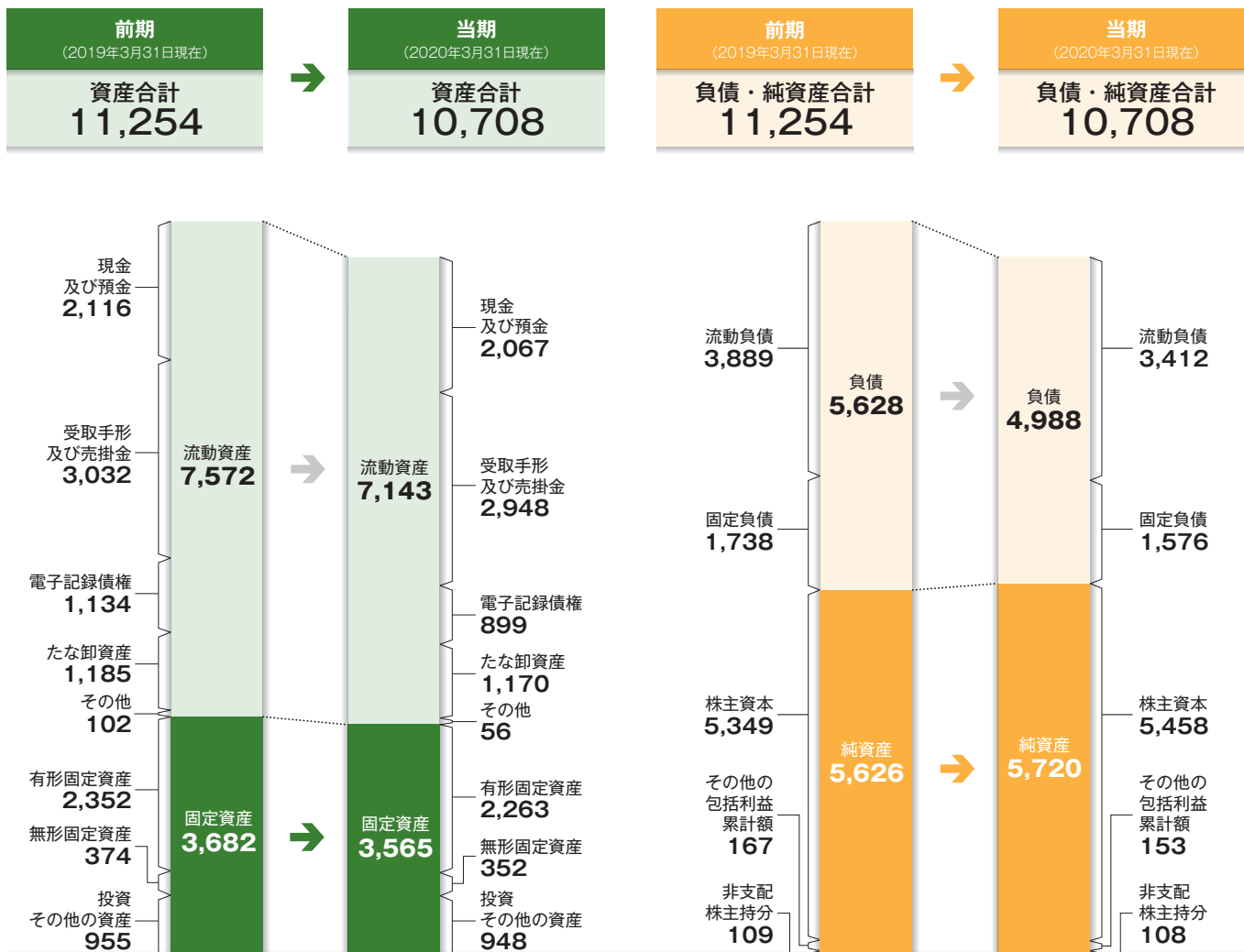
松尾 隆徳

#### 【受賞歴(主なもの)】

2004年10月 中小企業庁長官表彰  
2009年10月 経済産業大臣表彰、愛知県知事表彰  
2010年10月 国税庁長官表彰  
2015年 9月 愛知県警察本部長・愛知県交通安全協会会長連盟表彰  
2016年11月 旭日小綬章受章

連結貸借対照表の概要

(単位：百万円)



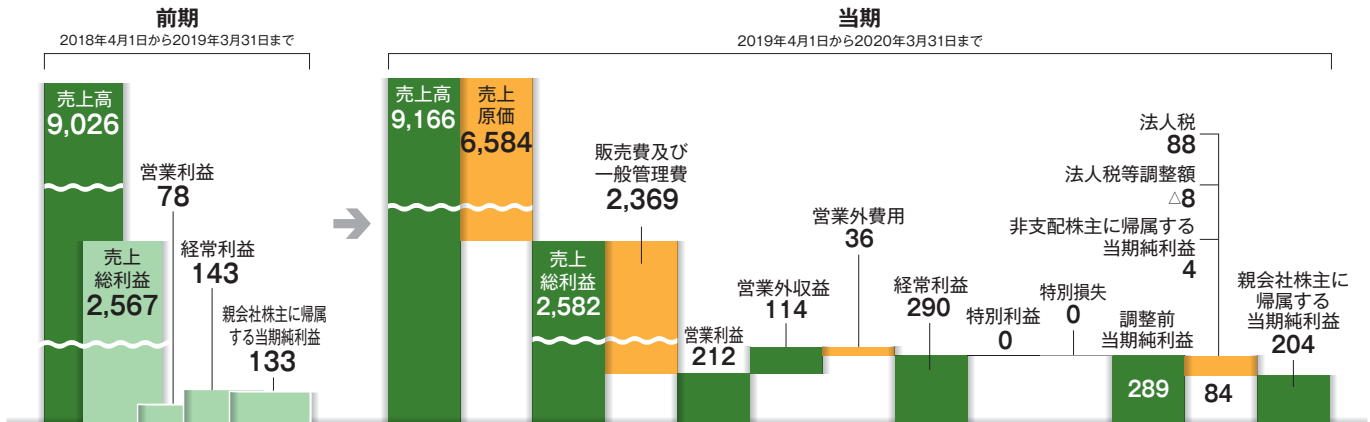
Point

総資産は、電子記録債権ならびに受取手形及び売掛金などが減少したことなどにより前期末比546百万円減少し、負債は支払手形及び買掛金ならびに短期借入金が増加したことなどにより前期末比639百万円減少しました。なお、純資産は利益剰余金が増加したことなどにより前期末比93百万円増加しました。



連結損益計算書の概要

(単位：百万円)

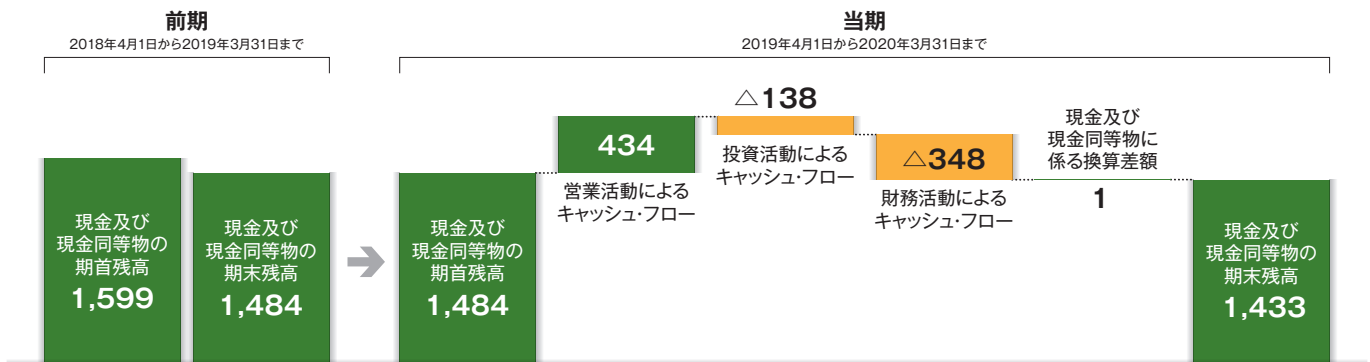


Point

当期は、国内外の成長市場への新規・深耕開拓をはじめ、産学連携を中心としたオープンイノベーションの活用による市場投入までのリードタイム短縮、コア技術を応用した新製品開発を行うなど、事業基盤の強化に努めてまいりました。売上高は、エンジニアリング部門や変圧器部門の売上が増加したことなどにより、前連結会計年度比1.6%増収となりました。利益面では、売上の増加や販売費及び一般管理費を抑制したことなどにより、営業利益、経常利益ともに増益となりました。その結果、親会社株主に帰属する当期純利益は204百万円となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位：百万円)



Point

当期の現金及び現金同等物は、前期末に比べ50百万円減少し、1,433百万円となりました。営業活動の結果得られた資金は、売上債権ならびに仕入債務の減少などにより434百万円となりました。投資活動の結果使用した資金は、有形固定資産ならびに無形固定資産の取得による支出などにより138百万円となりました。財務活動の結果使用した資金は、長期借入金の返済による支出などにより348百万円となりました。

機器事業部 管理部 管理課  
課長

前田 亮

成長のとなり  
に  
「楽しさ」と  
「ほろ苦さ」

### 「ほろ苦さ」の先に

この4月、37歳で課長職に就きました。ただ、出会った仕事を振り返ると、「楽しさ」よりも、むしろ「ほろ苦さ」を感じる日々でした。

大学で電気工学を学んだ後に最初に就職したのは自動車部品メーカーでした。部品点数が多い自動車は、その製品がどこに使用されているのかさえ分からず、2年半で見切りをつけることにしました。その後、当社に入社して、まずLED表示器の設計を任せられました。ところが駅での設置作業では想定どおりに作動せず、その場でソフトウェアの変更をするという離れ業を経験することもありました。

次に配属された購買は、資材などの購入窓口となります。仕入れ先とは交渉の連続で、人と人の付き合い方、信頼の大切さを学ぶことができました。

現在の管理課は、生産管理を担い営業と工場の橋渡し役となり

ます。営業が受注した仕様とそれを製品にする現場との間で、時に板挟みになることもあります。

### 視野を広げてくれた船上研修

「楽しかった」と今も思い出すのが、4年ほど前に参加した「JC（日本青年会議所）青年の船」。JCの東海地区協議会が主催する7泊8日の船上研修です。

仕事も人生経験も異なる約600名が参加し、座学だけでなく、チームを組んで課題と向きあう場もあり、物事を多方面からとらえる大切さを学びました。機会があれば後輩たちにも経験させたいです。

この数年、管理課はパソコンがあるにも関わらず、営業との納期の確認は今もFAXで送るケースが多く、紙はなかなか減りません。目下、管理課長として、部内のペーパーレス化に取り組んでいくところです。

会社の概況

(2020年3月31日現在)

商号	東洋電機株式会社
設立	1947年(昭和22年)7月
資本金	10億3,708万円
本社・春日井工場	〒486-8585 愛知県春日井市味美町2-156
神屋工場	〒480-0393 愛知県春日井市神屋町字引沢1-39
営業所	東京、名古屋、大阪
関係会社	東洋樹脂株式会社(愛知県小牧市)
	東洋電機ファシリティーサービス株式会社(愛知県春日井市)
	東洋板金製造株式会社(愛知県春日井市)
	南京華洋電気有限公司 (中華人民共和国江蘇省南京市)
	Thai Toyo Electric Co., Ltd. (タイ王国チョンブリ県)
主要取引銀行	百五銀行、商工中金、三井住友銀行、名古屋銀行
従業員数	227名(連結454名)

役員

(2020年6月23日現在)

代表取締役 社長執行役員	松尾昇光
取締役 常務執行役員	井澤宏
取締役 常務執行役員	加藤茂男
取締役(監査等委員)	森正一
取締役(監査等委員)	葛谷昌浩
取締役(監査等委員)	井上誠

(注)取締役 葛谷昌浩氏および井上誠氏は、社外取締役であります。

株式の概況

(2020年3月31日現在)

発行可能株式総数	9,000,000株(普通株式)
発行済株式の総数	4,694,475株(自己株式458,170株を含む)
株主数	1,571名

大株主

(2020年3月31日現在)

株主名	持株数	持株比率
有限会社城西	430千株	10.16%
東洋電機取引先持株会	306千株	7.23%
東洋電機従業員持株会	243千株	5.75%
株式会社商工組合中央金庫	232千株	5.48%
株式会社百五銀行	214千株	5.05%
松尾隆徳	173千株	4.08%
トーヨーテクノ株式会社	144千株	3.42%
松尾昇光	128千株	3.02%
第一生命保険株式会社	125千株	2.95%
日本生命保険相互会社	125千株	2.95%

(注)持株比率については、自己株式(458,170株)を控除して算出しております。

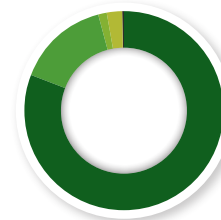
株式分布状況

(2020年3月31日現在)



所有者別

●金融機関	19.17%
●金融商品取引業者	0.11%
●その他法人	22.55%
●個人・その他	58.17%



所有数別

●100単元以上	80.97%
●10単元以上	14.93%
●5単元以上	1.36%
●1単元以上	2.73%
●1単元未満	0.01%

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都府中市日鋼町1-1 Tel. 0120-232-711 (通話料無料)
上場取引所	株式会社名古屋証券取引所 市場2部(コード6655)
公告方法	電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
公告のホームページアドレス	<a href="http://www.toyo-elec.co.jp/">http://www.toyo-elec.co.jp/</a>

## ご注意

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## ホームページのご案内



最新の製品情報やIR情報などを分かりやすく掲載しています。

<http://www.toyo-elec.co.jp/>

東洋電機



お問合せ先

**東洋電機株式会社**

〒486-8585 愛知県春日井市味美町2-156 TEL.0568-31-4191 FAX.0568-31-8096

この報告書は  
植物油インキを  
使用しております